福岡翔学館高等学院学校通信　　NO．１５

未来への軌跡

2009年9月7日

補習授業開始！！

１日（火）から、英語や社会を中心とした補習授業が行われました。日ごとに学年を分けて生徒全員に登校を促し、授業を受けるように呼びかけました。生徒たちもバイトや友人と過ごす等の時間を縫って、積極的に登校してきています！

今後も、継続して補修を行なう他、国語や理科の講義も行ない、後期から余裕を持ってスタートを切れるように登校を促していきます！！

～花壇の水遣り＆交流の時間～

１年生のK君が、木曜日の駅前花壇の水遣りの手伝いに来てくれました！彼が慣れた感じで水遣りを行なう様子は、とてもたくましさを感じます！！

休みに入ってから、生徒たちはそれぞれの時間を過ごしているようですが、中には生徒間で学校に来る日を合わせてくる事もあります。翔学館の生徒たちは、学年を越えての仲間意識が存在するので、学年関係なく時間に都合をつけて生徒と話しに来る事もあります。もちろん該当する補習科目を受けることが優先ですが、生徒との仲を深める事も登校への意識を高める要素としてとても大切です。

補習を受けに来るよう呼びかけると同時に、生徒間のつながりを深めていけるような機会をもっと増やせるようにしていきたいです！！

入学試験始まる！！

　今月から、いよいよ生徒たちの入学試験が始まります！既に美容系の専門学校への進学が決定しているＴさん以外の 3 年生が各々、大学、短大、専門学校などの入試を受けるために願書をそろえるためや、面接の練習をするために登校してきました。

　しかし準備が万全だと思っていても、当日の試験を意識してしまうと緊張して、人によってはやる気がそこなわれてしまう事もあると思います。受験するのは本人なので、それはやむを得ません。

　先日、大阪のとある教師塾にて一つ事例が紹介されました。陸上競技の全国大会にて、優勝必至と期待されたチームのうちの数名が当日病気にかかり、チーム全体が優勝どころか入賞さえも危うくなった時に、メダルの期待がかかったＡさんは当然プレッシャーに覆われました。

「メダルが獲れなかったらどうしよう…。」

　そんなＡさんに対してコーチがとった行動は、Ａさんをまず競技関係者から離し、大会の寮から出して、自分（コーチ）の家に宿泊させ、地元の慣れた場所でコーチとマンツーマンでトレーニングをさせたことでした。

　その結果、Ａさんは大会当日に優勝し、プレッシャーを跳ね除けたそうです。

　この話の驚くところは、実はＡさんとそのコーチは、本番を迎える前から上記のような最悪の事態を想定して、トレーニングとしてコーチの家に宿泊させ、マンツーマンでの指導を行い、信頼関係を築いていたところにあります。

　教師塾で学んだ点として「常に最悪の場面と、最高（理想）の場面を想定して行動する」という事です。

　実際、試験を受けるにあたり、快晴であるとは限りません。雨で交通渋滞になりバスが遅れて試験が受けられなくなるかもしれないですし、今は気持ちが落ち着いていたとしても、当日緊張して注意が散漫になってしまうかもしれません。逆に、勉強していたところばかりが試験に出題される事も予想されるでしょう。

　「先のことが分からないから今何もしないのではなく、分からないからこそ今やれるだけの事を精一杯考えて行動に移す」

　私自身、まだ目の前のことで手一杯のところがありますが、これを機に先のことを想定して、先生方と考えをシェアしながら、今生徒に何ができるかを考えて実践していきます！！